

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)



海運や流通学ぶ 仙台塩釜港で学外実習



港灣施設を見学する渡邊ゼミ生

経営・渡邊ゼミ

インフラの整備や運営について経済学的な見地から研究する経営・渡邊ゼミは11月12日、仙台市の仙台塩釜港で学外実習を行った。2、3年次生12人が参加し、海運や物流、国土交通省が取り組む港灣整備事業について理解を深めた。

ゼミ生はスリーエム仙台港パーク展望台、高砂コンテナターミナルを訪れ、戦後東北の物流を支えてきた同港の歴史、設備について国交省東北地方整備局の職員から説明を聞き、熱心にメモを取った。実習の後半は小型船舶「翔洋」に乗船。寄港中の旅客船やコンテナ船、穀物・飼料サイロ、発電所などの施設を海上から見学した。

経営・3年次生チーム

ふるさとCM大賞に出品

石巻市のPR作品制作



金華山黄金山神社

CMのワンシーン

迫力があつた。コンテナが流通を支えていることを実感した」と話し、鈴木拓人さん(経営2・群馬県太田東高)は「今後は流通がどのように経済に結びついていくのかを学んでいきたい」と語った。また渡邊ゼミは21日から23日までの日程で、苫小牧港(北海道苫小牧市)を訪問。仙台塩釜港(青森県八戸東高)は「多くのコンテナがあり、巨大なクレーンや運搬車を活用して作業する様子は

地域のためにできることを

自動車工学コース15人

台風被災者支援

硬式野球部90人

地域のために今できることを。多大な被害をもたらした台風19号、19号の被災者を支援するボランティア活動に本学の多くの学生が取り組んでいる。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに



丁寧に整備に取り組む学生



流入した土砂をかき出す硬式野球部員

社会に貢献していききたい」と話した。

◆ 台風19号で1万棟を超える住宅が浸水被害にあつた石巻市。「困っている人の手助けができないか」と硬式野球部の90人

が、石巻市社会福祉協議会が募集するボランティアに参加した。部員たちは11月2日、石巻市の真野、北上町の長尾、女川の3地区で、住宅に流入した土砂のかき出しや、浸水した家具の搬出を行っている。自分たちができることを考え、行動したい」と語った。

女川地区で作業した金子大翔さん(経営3・新潟県柏崎工業高)は「日ごろ、地元の方々に応援してもらっていたので、体力になりました。体力的には自信があったが、4時間の作業は重労働だった。引き続き、自分たちができることを考え、行動したい」と語った。

英語で地域の魅力発信 人間文化学科で新講義



地域の魅力を発表する渡部さん(中央)のグループ

目黒志帆美助教が担当する人間学部人間文化学科の2年次必修科目「英語D」では、英語で地域の魅力を発信することを目的とした新たな講義が今年度から行われている。11月13日には、「英語で地域を学び、その魅力を伝えよう」をテーマに、授業内で発表会を行った。

学生たちは8グループに分かれ、宮城県の各地域(石巻、仙台、松島、東松島、塩釜、大崎、白石、蔵王)について調査した。風土、観光、歴史、文化などの資料を読み込み、英文でポスターを作製した。発表、質疑応答もすべて英語で行った。

中国・東北電力大学と交流協定

石巻専修大学は、中国の東北電力大学(吉林省吉林市)と学生、教員間た。本学の国際交流協定



蔡学長と協定書を手握し握手を交わす水野センター長(左)

校は温州大学(中国浙江省温州市)、ランドルフ・メーコン大学(米国バリーニア州)に次いで3校目。東北電力大学は1949年創立の長春電機高級職業学校を前身に、現在は機械工、電気工、外国語など15学部を擁する総合大学。

弓道部初優勝

東北秋季学生3部リーグ戦

第59回東北地区秋季学生弓道大会の3部リーグ戦(10月27日、仙台市・宮城県武蔵館)で弓道部が初優勝を遂げた。宮城県の菊池哲さん(経営1・岩手県盛岡誠り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長(理工3・秋田県角館高)は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実

昇太さん(経営1・宮城県石巻商業高)が3位と、1年次生コンビの活躍が光り、初の2部昇格を勝ち取った。